

科目名	デザイン実習 2 A							年度	2025
英語科目名	Design Practice 2A							学期	1
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 2 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	林 準也		教員の実務経験		有	実務経験の職種		インテリア コーディネーター	
【科目の目的】									
実在する中古マンションをスケルトンにしてフルリノベーションするプレゼンテーションをする課題において、コンセプト メーキング立案から間取り、全てのエレメントの選定まで一貫して作成させることで一人で考えてやり抜く力量を付けると 共に、インテリアコーディネーターの実務を理解させる									
【科目の概要】									
課題条件の理解、市場分析、コンセプトメーキング、間取り、インテリアエレメント、マテリアルの選定、プレゼンテー ションボードの作成									
【到達目標】									
到達目標A：課題条件に適したコンセプト立案が出来る 到達目標B：コンセプトに沿った間取り、アイデアである 到達目標C:インテリアエレメント、マテリアルの選定が適切である 到達目標D：空間イメージが伝わるプレゼンテーションボードである 到達目標E:危機的状況を意識した伝えることを明確にしたプレゼンテーションである									
【授業の注意点】									
授業時間を最大限有効に活用し、課題を期限内に確実に仕上げる。欠席等により課題が出せなかった場合は、翌週までに仕 上げ、提出すること。全ての課題を提出しなければ合格とならない。また授業時数の4分の3以上出席しない者は合格するこ とができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5		レベル3		レベル1				
	優れている		ふつう		要努力				
到達目標 A	課題条件を十分に理 解し物件に適した立 案ができる		課題条件を理解し物 件におおむね適した 立案ができる		課題条件を理解し物 件に適した立案が出 来ない				
到達目標 B	コンセプトに沿った 間取り、導線となっ ている		おおむねコンセプト に沿った間取り、導 線となっている		コンセプトに沿った 間取り、導線となっ ていない				
到達目標 C	適切にエレメント、 マテリアルの選定が 出来る		おおむね適切にエレ メント、マテリアル の選定が出来る		適切にエレメント、 マテリアルの選定が 出来ない				
到達目標 D	空間イメージが細部 まで伝わるプレゼン テーションボードで ある		空間イメージがおお むね伝わるプレゼン テーションボードで ある		空間イメージが伝わ るプレゼンテーショ ンボードではない				
到達目標 E	プランの内容が充分 に伝わるプレゼン テーションである		プランの内容がおお むね伝わるプレゼン テーションである		プランの内容が伝わ るプレゼンテーショ ンではない				

【教科書】							
必要時に資料を配布							
【参考資料】							
必要時に資料を配布							
【成績の評価方法・評価基準】							
到達目標による評価 70%							
積極的な授業参加と授業態度かどうか 30%							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		デザイン実習 2A				年度	2025
英語表記		Design Practice 2A				学期	1
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	課題説明	要求事項の理解	課題条件の理解		コンセプトメイキングの為の分析が出来る	2	
			市場分析		コンセプトメイキングの為の分析が出来る		
2	プランニング	要求事項に応える	市場分析		課題条件に沿ったコンセプトが出来る	2	
			コンセプトメイキング		コンセプトに沿ったプランニングが出来る		
3	プランニング	要求事項に応える	間取りの検討		コンセプトに沿ったプランニングが出来る	2	
4	商品選定	商品知識	水回りの選定		コンセプトに沿った選定が出来る	2	
5	商品選定	商品知識	マテリアルの選定		コンセプトに沿った選定が出来る	2	
6	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える	平面図作成		実際のスケール感で作成出来る	2	
7	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える	平面図作成		実際のスケール感で作成出来る	2	
8	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える	パース、CGの作成		イメージが伝わるパースが描ける	2	
9	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える	パース、CGの作成		イメージが伝わるパースが描ける	2	
10	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える	パース、CGの作成		イメージが伝わるパースが描ける	2	
11	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える	パース、CGの作成		イメージが伝わるパースが描ける	2	
	プレゼンター		レイアウト		見やすく伝わるレイアウトが出来る		

12	ジョンボード作成	要求事項に応える				2	
13	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える		ボード仕上げ	情報に漏れがなく出来ている	2	
14	プレゼンテーション 講評	プレゼンテーション力		発表	コンセプトとそれに沿ったプランニングを詳細に説明出来る	2	
				講評	人のプランを正しく評価出来る		
15	プレゼンテーション 講評	プレゼンテーション力		発表	コンセプトとそれに沿ったプランニングを詳細に説明出来る	2	
				講評	人のプランを正しく評価出来る		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							